



給食に「風さやか」のご飯が出され、おいしそうにほお張る堀金小5年生

給食に新種米「風さやか」

若手農家が提供、魅力PR

安曇野市内の若手農家7人をつくる「安曇野・come(ドット さやか)」を市内の小中

学校の学校給食に提供した。19日に各校で「風さやか」の給食があり、ドットコメのメンバーも学校を訪れて、新しい米をPRした。

堀金小学校(勝家昌昭校長)にはドットコメのメンバー3人が訪れ、5年生と一緒に給食を食べた。5年3組(35人)では、メンバーでJAあづみ青壮年部長の青柳聡さん(45)

が「風さやか」を頑張って作っています。おかわりしてたくさん食べてください」と呼び掛けると、児童たちは元気良く返事をして、前日に精米したばかりだという「風さやか」

をほお張っていた。

育成し、平成25年3月

給食委員の中嶋望玖さんと佐野紗葵さんは

に品種登録された。稲が倒れにくく、収量性が高いなどの特長がある。市内の作付面積は約15畝(26年度)で、

「普通のお米より甘かった。おいしくて、いつもより早く食べるこ

とができた」と話してドットコメのメンバーが作付けする面積は昨

市農政課などによる

年の2畝から今年は10

と「風さやか」は県農業試験場(須坂市)が

畝と、5倍になっている。(萩原真一)